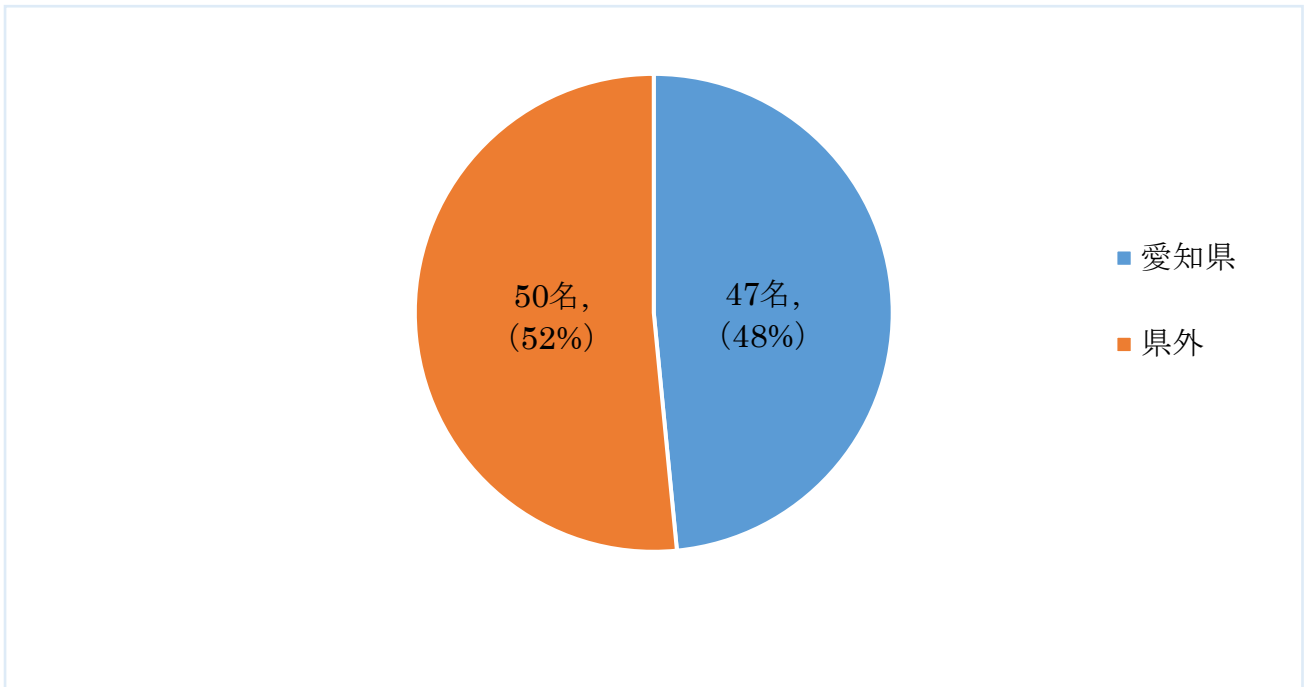


2023 年度愛知県一般検査研究班 11 月講演会

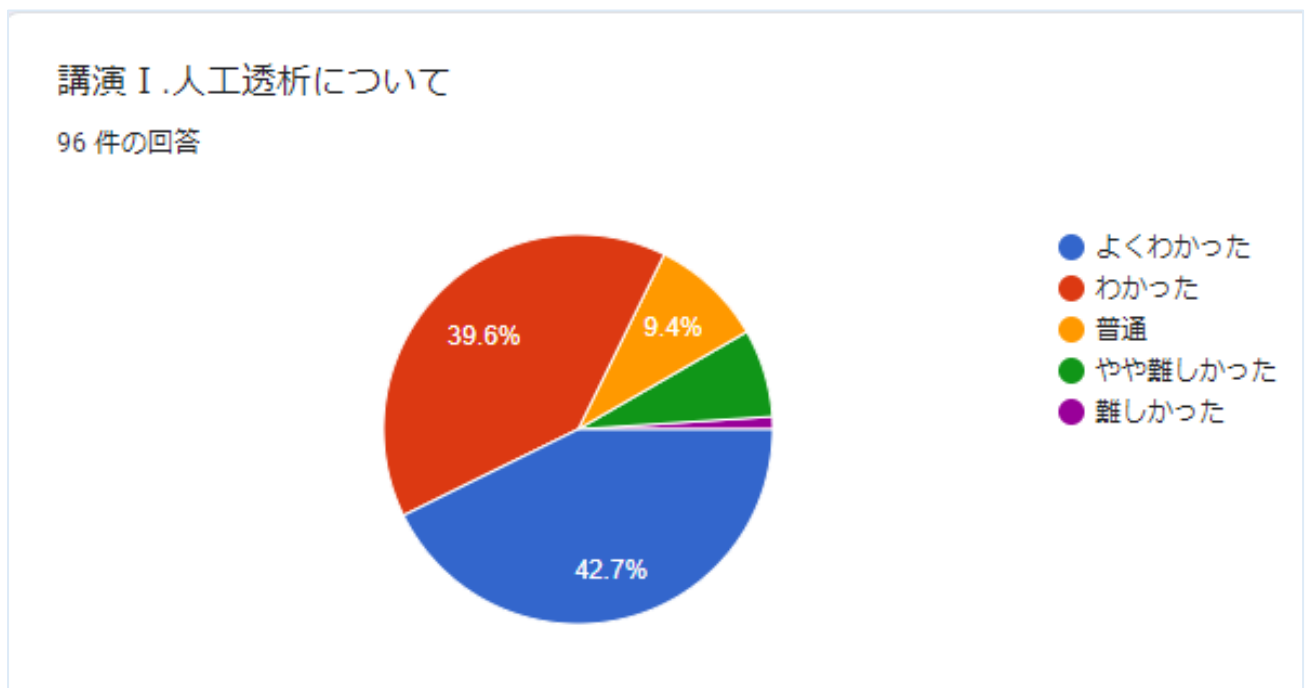
アンケート集計結果

作成日：2023 年 11 月 20 日

【参加者の所属臨床検査技師会】



【講演について】



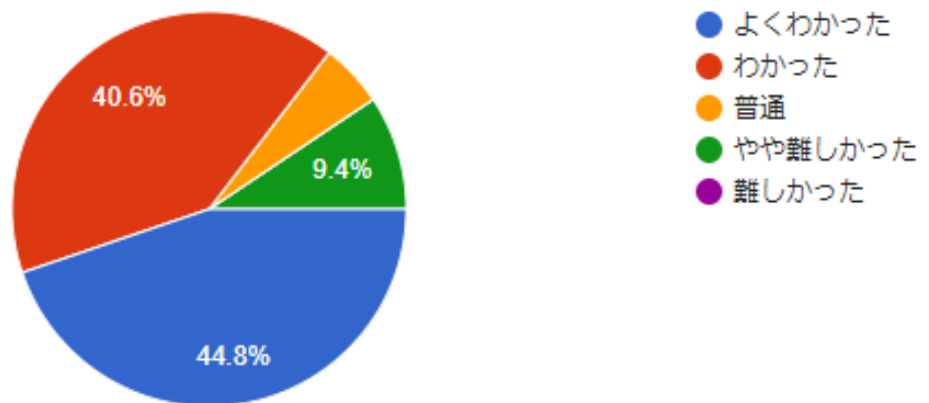
講演 I .人工透析について一番印象に残ったのは何ですか？（順不同）

- ・海外旅行もお金があれば行けること。
- ・血液透析と腹膜透析の違い。
- ・透析の種類とその原理がわかりやすかったです。
- ・人工透析をしていても旅行ができる。
- ・腹膜透析について。
- ・透析後の体重変化について。
- ・透析の種類と実務について。
- ・来院から終了までの一連の流れについて。
- ・シャントの説明。
- ・腹膜透析について詳しく学べた。
- ・シャントの種類、作製方法。
- ・透析において日本国内旅行する時に旅行先でも透析が可能な事もあるということです。
- ・シャントへの実際の取り付けかた。
- ・透析患者の死因は心不全、感染症だということ。
- ・シャントについて。
- ・体重の大切さ。
- ・シャントの種類が色々あるということを知らなかったのが印象に残りました。
- ・1日4時間週に3日の透析では腎機能の最低限の機能しか保てないということ。
- ・シャント形成方法。
- ・透析治療の流れについて。
- ・基礎的な内容がよく分かりました。原理、種類等。
- ・腹膜透析と血液透析のハイブリッドで行われていること。
- ・人工透析の手順。
- ・透析の種類や患者への対応。
- ・症例提示のうえで検査値の解釈。
- ・腹膜透析は血液透析と比較し、生活が維持しやすい。
- ・人工透析の原理に加え、使用するシャントの違いによる利点や危険性を学べたことが印象に残りました。
- ・腹膜透析と体外透析の長所、短所。
- ・腹膜透析と血管透析の維持や利用期間が異なること。
- ・物質の大きさによって浸透圧と限外ろ過とで通過するものを選び分けること。
- ・血液透析と腹膜透析があつて腹膜透析の方が身体への負担が少なく循環動体も安定する。
- ・透析回路の構造。
- ・透析回路を詳しく学べたこと。
- ・腹膜透析の有効性について(当院では血液透析しか行っていない為)。
- ・原理の話。
- ・血液透析の原理と手順

- ・腹膜透析について、言葉は知っていましたが、初めて学ぶことができよかったです。また、「拡散」と「限外ろ過」について理解できました。
- ・透析導入から維持管理まで、大変きめ細かく対応されているのが分かりました。
- ・今はPDファーストと言われている事。
- ・透析の原理、シャントの仕組みが理解できました。
- ・旅行先で透析ができる場合もあること。
- ・食塩摂取制限が思っていたより緩かった。
- ・腹膜透析がどのようなものなのか、透析液についても調べた事がなかったので理解できました。
- ・ドライウェイト設定の基準。
- ・透析の流れについて良くわかりました。
- ・血液透析の原理と実際の手技動画。
- ・腹膜透析は血液透析に比べて利点が多いこと。
- ・血液透析の原理とブラットアクセスの種類、腹膜透析の原理・利点と人生の最終段階における透析医療。

講演Ⅱ.腎移植について

96件の回答



講演Ⅱ.腎移植について一番印象に残ったのは何ですか？(順不同)

- ・移植件数の少なさ。
- ・医療費。
- ・日本と海外における実施数の差。
- ・患者状態による腎移植の優先度について。
- ・臓器別に移植時間が違うことや、死因によっても移植臓器が異なること。
- ・移植後出産された方々の幸せそうな写真。
- ・予後の長さ。

- ・日本での移植の普及率が他の国と比べてとても低かったこと。
- ・海外と日本の移植件数の違いやその背景。
- ・生体腎移植についての流れや手術の方法。
- ・実際の手術映像。
- ・透析件数の割に移植件数が少ないこと。
- ・アメリカも待機中に亡くなっている子供がいること。
- ・温阻血時間と冷阻血時間について。
- ・ドナー側の安全についての検証。
- ・腎臓移植後の余命について。
- ・透析よりも医療費の削減が期待できる点。
- ・移植ドナーの腎臓摘出の様子。
- ・手術の動画。
- ・移植によって予後が延びること。
- ・腎臓移植は基本的に右側にすると言う事です。
- ・移植手技と免疫抑制剤使用の実態。
- ・腎臓摘出の動画。
- ・本邦での移植医療の現状。
- ・腎移植が多い理由。
- ・海外に比べて腎移植数が圧倒的に少ないことに驚きました。
- ・生体腎移植が多いということと腎機能の維持には太らないことが大切であるということ。
- ・腎移植におけるドナーとレシピエントの身体的及び精神的満足度の高さ。
- ・日本では腎移植の件数が少ないこと。
- ・移植の実際の方法。
- ・脳死移植が臓器の質としては最善であること。
- ・脳死移植が1番移植に適していること。
- ・日本の圧倒的な腎移植の少なさについて。
- ・レシピエント及びドナーの QOL 標準的であること。免疫抑制剤の使用は腎への影響はあるが、移植後の生涯へ影響は大きくは出ず日常を過ごせる。
- ・透析よりも、移植の方が医療経済的にはメリットがある。透析患者と移植後の患者の新生児死亡率に大きな差がある。
- ・臓器移植時における流れを初めて学び、摘出から移植までの一連の流れが大変印象に残りました。
- ・臓器摘出後から移植までの猶予時間。
- ・日本での件数は少ないと思っていたが、思った以上だった。
- ・移植手術の映像が印象的でした。腎臓の機能を保つため、まずは太らないことが大事であることが身に染みます。
- ・ドミノ移植。
- ・移植手術の実際映像。
- ・実施施設でなく、とても興味深く拝聴しました。

- ・血液型不適合移植が普通に行われている現状について。
- ・日本はまだまだ移植が進んでない。
- ・臓器の摘出と保存、移植前の検査について。
- ・腎臓摘出の画像を見たのは初めてでした。
- ・移植後の生存率が良いこと。
- ・腎移植後の患者さんのエコーを担当する事があるのですが、何故移植された腎臓がこの様な場所にあるのかが、よく分かりました。
- ・移植症例がかなりあるという事。当院では移植患者さんがあまりいらっしゃらないので。
- ・生体腎移植と献体腎移植の移植時の相違点など、初めて聞くことばかりで本当に勉強になりました。
- ・腎移植と透析を組み合わせることで、子どもの人生のイベントを多く見れる可能性があること。
- ・他国に比べて極端に実施数が少ないこと。
- ・当院では腎移植を行っていないので、今まであまりイメージが湧かなかったのですが、腹膜透析、透析、移植による生存年数のお話が印象的でした。
- ・術中の動画。
- ・世界と日本の臓器提供数の違い。
- ・今の移植状況がわかりました。
- ・日本の移植の少なさに驚きました。
- ・移植の実情。
- ・左腎が多い理由は腎静脈が長くとれるからだということ。
- ・知識不足のため全てです。
- ・腎臓や膵臓の搬送許容時間が私が思っているより長かったこと。
- ・腎移植を含む腎代替療法と生体腎移植後の変化。
- ・移植腎の移植場所や左腎を選択する理由。

【11月講演会に関するご意見、ご感想】

- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・貴重な講演をありがとうございました。
- ・勉強になりました。ありがとうございます。
- ・勉強になります。
- ・大変興味深い講演をありがとうございました。
- ・貴重な機会をありがとうございます。
- ・大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・凄く勉強になりました。ありがとうございました。普段聞けないお話が聞けました。
- ・透析や移植の話聞くことはなかなかないので、勉強になった
- ・なかなか聞く機会のないテーマの勉強会だったので、参加できて良かったです。また今後も県外からの参加を認めていただける web 研修会の開催をお願いいたします。
- ・知っているようで知らない分野を拝見できてとてもいい経験になりました。

- ・どちらもほぼ知らない議題だったので、難しかったです、勉強になりました。
 - ・普段なかなか聞けない話で、透析や腎移植について知ることが出来たので良かったです。
 - ・講義内容が専門性に長けており毎回、非常に勉強になっております。臨床検査技師の知見だけでなく、コメディカルの臨床に対するアプローチを知る事で、自身の知識の向上が図れております。この度は貴重な講義を本当にありがとうございました。
 - ・なかなか他職のプロフェッショナルの先生の講演を聞く機会が無いため、今回の講演会はプロが分かりやすく基本から講演して下さったこともあり大変分かりやすく有意義でした。
 - ・今まで学んだことが無い内容の講義で、大変勉強になりました。今後もよろしく願いいたします。
 - ・私は透析中心の老健併設クリニックに勤務しており、今回は大変参考になりました。ありがとうございました。
 - ・一般検査の勉強会で、尿沈渣、体腔液などの講演を聴くことがほとんどで、透析について学ぶ機会がなかったのも参考になりました。
 - ・毎回、講演内容がとても興味深く、参加させて頂くのが楽しみです。
 - ・検査のことだけでなく、広い視野での勉強はとてもよかったです。
 - ・大変勉強になったので、今後も多くの研修会やセミナーを開催していただきたいです。
 - ・一般検査では腎移植との接点が必ずあります。とくに腎移植後の免疫低下時に尿沈渣にてウイルス感染細胞など臨床に役立つ情報を適切に提供する必要があると感じました。
 - ・いつも尿沈渣等、ありがたいです。
-

- ・zoom での ID とパスワードが変わっていて繋ぎにくかった
- ・講演会当日の URL 変更に、危うく気が付かないところでした。間に合って良かったです。
- ・URL の変更のお知らせが直前だったため、参加が大幅に遅れてしまい、残念でした。

→ 技師会での zoom の設定に間違いがあり、直前での訂正となってしまいました。

皆様にはご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんでした。

今後細心の注意を払い準備に臨みたいと思いますので、引き続き宜しく願い致します。